

印西市の公共施設に関する  
市民アンケート結果  
報告書  
(概要版)

平成 28 年 6 月



# 目次

1. 調査概要 .....	1
1.1. 調査の概要 .....	1
(1) 調査目的 .....	1
(2) 調査票配布数／回収数 .....	1
(3) 調査方法 .....	1
(4) 調査対象者 .....	1
(5) 調査期間 .....	1
(6) 調査項目 .....	1
(7) 調査地区区分 .....	2
(8) 調査対象施設分類 .....	3
(9) 集計等に関する留意事項 .....	3
2. 調査結果 .....	4
2.1. 回答者の属性 .....	4
2.2. 調査結果の概要 .....	6
(1) 問1 公共施設の利用状況 ①利用頻度 .....	6
(2) 問1 公共施設の利用状況 ②利用しない理由 .....	7
(3) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ①主な交通（移動）手段 .....	8
(4) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ②所要時間 .....	9
(5) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ①施設量 .....	10
(6) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ②サービス内容 .....	11
(7) 問4 公共施設の存続優先度 ①優先度 .....	12
(8) 問4 公共施設の存続優先度 ②優先度が低い理由 .....	13
(9) 問5 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度 .....	14
(10) 問6 公共施設の保全・活用方策 .....	15
(11) 問7 公共施設の統廃合と交通手段への影響 .....	16
(12) 自由意見 .....	17

# 1. 調査概要

## 1.1. 調査の概要

---

### (1) 調査目的

印西市公共施設等総合管理計画を策定するにあたり、市民の皆様の公共施設の利用状況及び管理・運営に関する意識を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的として、アンケートを実施しました。

### (2) 調査票配布数／回収数

配布：3,000 票 / 回収：1,502 票 回収率 50.1%

### (3) 調査方法

郵送配布による無記名式アンケート調査

※配布時に「公共施設を取り巻く現況を解説した参考資料」を添付

### (4) 調査対象者

18歳以上の印西市民

※平成27年10月現在の住民基本台帳から無作為抽出

### (5) 調査期間

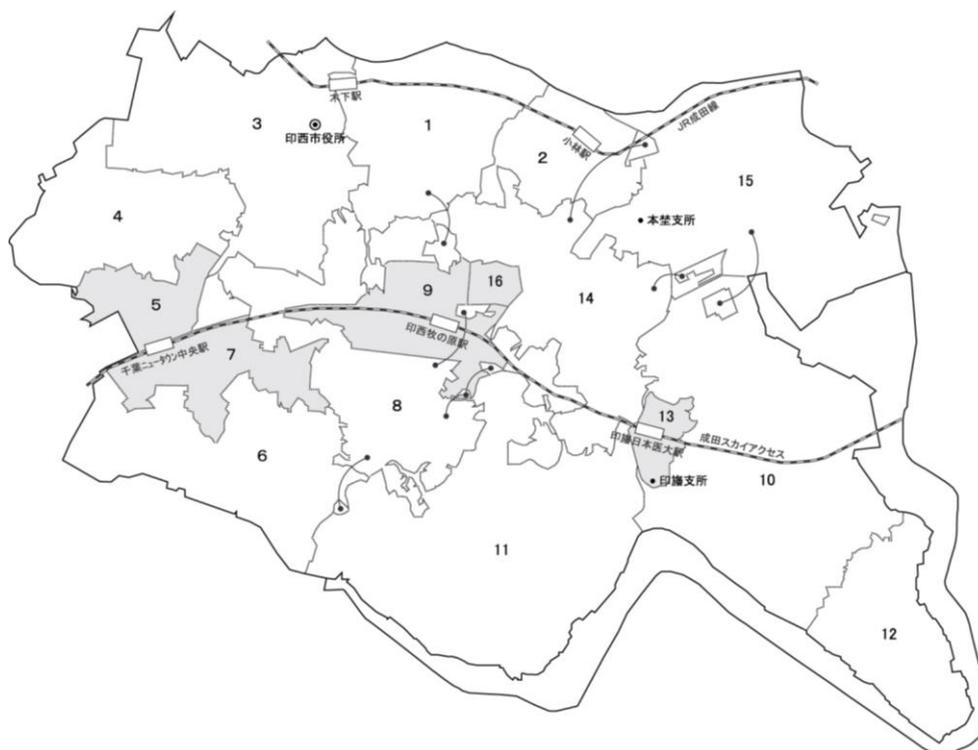
平成27年12月4日（金）から12月24日（木）までの約3週間

### (6) 調査項目

- 問1 公共施設の利用状況
- 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間
- 問3 公共施設の施設量とサービス内容
- 問4 公共施設の存続優先度
- 問5 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度
- 問6 公共施設の保全・活用方策
- 問7 公共施設の統廃合と交通手段への影響
- 自由意見

## (7) 調査地区区分

調査地区は、本市市民満足度・重要度調査で用いた区分で設定しました。  
 なお、本調査結果では、各地区の説明は地区番号を用いて行っています。



—	地区番号	地区名
印西地域	1	木下、木下南一～二丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東一～四丁目、平岡
	2	小林、小林北一～六丁目、小林浅間一～三丁目、小林大門下一～三丁目
	3	大森、鹿黒、鹿黒南一～五丁目、亀成、発作、相嶋、浅間前
	4	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉
	5	小倉台一～四丁目、大塚一～三丁目、牧の木戸一丁目、木刈一～七丁目、中央北一～三丁目
	6	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台一～二丁目、結縁寺、多々羅田
	7	内野一～三丁目、原山一～三丁目、高花一～六丁目、戸神台一～二丁目、中央南一～二丁目、武西学園台一～三丁目
	8	草深、泉
	9	西の原一～五丁目、原一～四丁目、東の原一～三丁目、牧の原一～六丁目
印旛地域	10	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫
	11	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田
	12	平賀、平賀学園台一～三丁目
	13	美瀬一～二丁目、若萩一～四丁目、舞姫一～三丁目
本埜地域	14	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木
	15	笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林
	16	滝野一～七丁目

※図表とも色付き地区は、ニュータウン地区です。

出典：「平成 27 年度印西市市民満足度・重要度調査報告書」(平成 28 年 3 月)

## (8) 調査対象施設分類

### (1) 市民文化系施設

文化ホール、公民館、地域交流館、コミュニティセンター、集会所、青年館、  
地区構造改善センターなど

### (2) 社会教育系施設

図書館、医科器械歴史資料館、歴史民俗資料館

### (3) スポーツ・レクリエーション系施設

松山下公園体育館、テニスコート、野球場など

### (4) 子育て支援施設

幼稚園、保育園、学童クラブ、児童館、子育て支援センター、  
子どもふれあいセンターなど

### (5) 保健・福祉施設

保健センター、福祉センター、高齢者就労支援センター など

### (6) 行政系施設

印西市役所、支所・出張所

### (7) 学校教育系施設

小学校、中学校、給食センター、教育センター

※インフラ施設などの市民の一般利用が無い施設は除く

※学校教育系施設は一部設問のみ

## (9) 集計等に関する留意事項

### ○回答率について

- ・回答率（各回答の百分比）は少数点以下第1位を四捨五入しています。また、グラフ中、四捨五入で「0」となるものは数値表示を省略しています。
- ・各回答の百分比は、四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。

### ○表記について

- ・グラフで使用している「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・集計結果の表やグラフでは、スペースの都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合があります。
- ・数値を記述するにあたり「割」での表記を用いている場合があります。その際の目安は、概ね以下のとおりとしています。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

## 2. 調査結果

### 2.1. 回答者の属性

【回答者数=1,502】

性別						
男性		女性			無回答	
43.9% (659人)		55.1% (827人)			1.1% (16人)	
年齢						
18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	無回答
10.9% (164人)	15.3% (230人)	15.8% (237人)	17.5% (263人)	23.4% (351人)	16.5% (248人)	0.6% (9人)
職業						
会社員 (公務員含む)	自営業 (農業従事含む)	パートタイマー・ アルバイト (契約社員含む)	学生	無職 (家事専業含む)	その他	無回答
34.0% (510人)	6.7% (101人)	17.9% (269人)	4.1% (61人)	33.4% (501人)	3.3% (49人)	0.7% (11人)
家族構成						
ひとり暮らし (単身世帯)	夫婦のみ	親と子 (2世代)	親と子と孫 (3世代以上)	その他	無回答	
5.5% (83人)	25.6% (385人)	55.3% (831人)	9.7% (145人)	3.0% (45人)	0.9% (13人)	
地域活動の参加状況						
常に参加している	ほとんど参加している	たまに参加している	参加していない	無回答		
8.1% (122人)	16.7% (251人)	38.5% (578人)	35.8% (537人)	0.9% (14人)		

居住地区			
	地区番号	地区名	回答数
印西地域	1	木下、木下南一～二丁目、竹袋、別所、宗甫、木下東一～四丁目、平岡	6.4% (96人)
	2	小林、小林北一～六丁目、小林浅間一～三丁目、小林大門下一～三丁目	7.6% (114人)
	3	大森、鹿黒、鹿黒南一～五丁目、亀成、発作、相嶋、浅間前	2.1% (31人)
	4	浦部、浦部村新田、白幡、浦幡新田、高西新田、小倉、和泉	1.1% (17人)
	5	小倉台一～四丁目、大塚一～三丁目、 牧の木戸一丁目、木刈一～七丁目、中央北一～三丁目	17.5% (263人)
	6	武西、戸神、船尾、松崎、松崎台一～二丁目、結縁寺、多々羅田	3.1% (46人)
	7	内野一～三丁目、原山一～三丁目、高花一～六丁目、 戸神台一～二丁目、中央南一～二丁目、武西学園台一～三丁目	20.6% (310人)
	8	草深、泉	3.1% (47人)
	9	西の原一～五丁目、原一～四丁目、東の原一～三丁目、牧の原一～六丁目	14.4% (217人)
印旛地域	10	瀬戸、山田、吉高、萩原、松虫	2.7% (41人)
	11	岩戸、師戸、鎌苅、大廻、造谷、吉田	2.3% (35人)
	12	平賀、平賀学園台一～三丁目	3.5% (52人)
	13	美瀬一～二丁目、若荻一～四丁目、舞姫一～三丁目	4.9% (73人)
本埜地域	14	中根、荒野、竜腹寺、角田、滝、物木	1.7% (26人)
	15	笠神、行徳、川向、下曾根、中、萩埜、桜野、押付、佐野屋、和泉屋、 甚兵衛、松木、中田切、下井、長門屋、酒直ト杭、安食ト杭、将監、本埜小林	2.3% (35人)
	16	滝野一～七丁目	5.4% (81人)
		無 回 答	1.2% (18人)

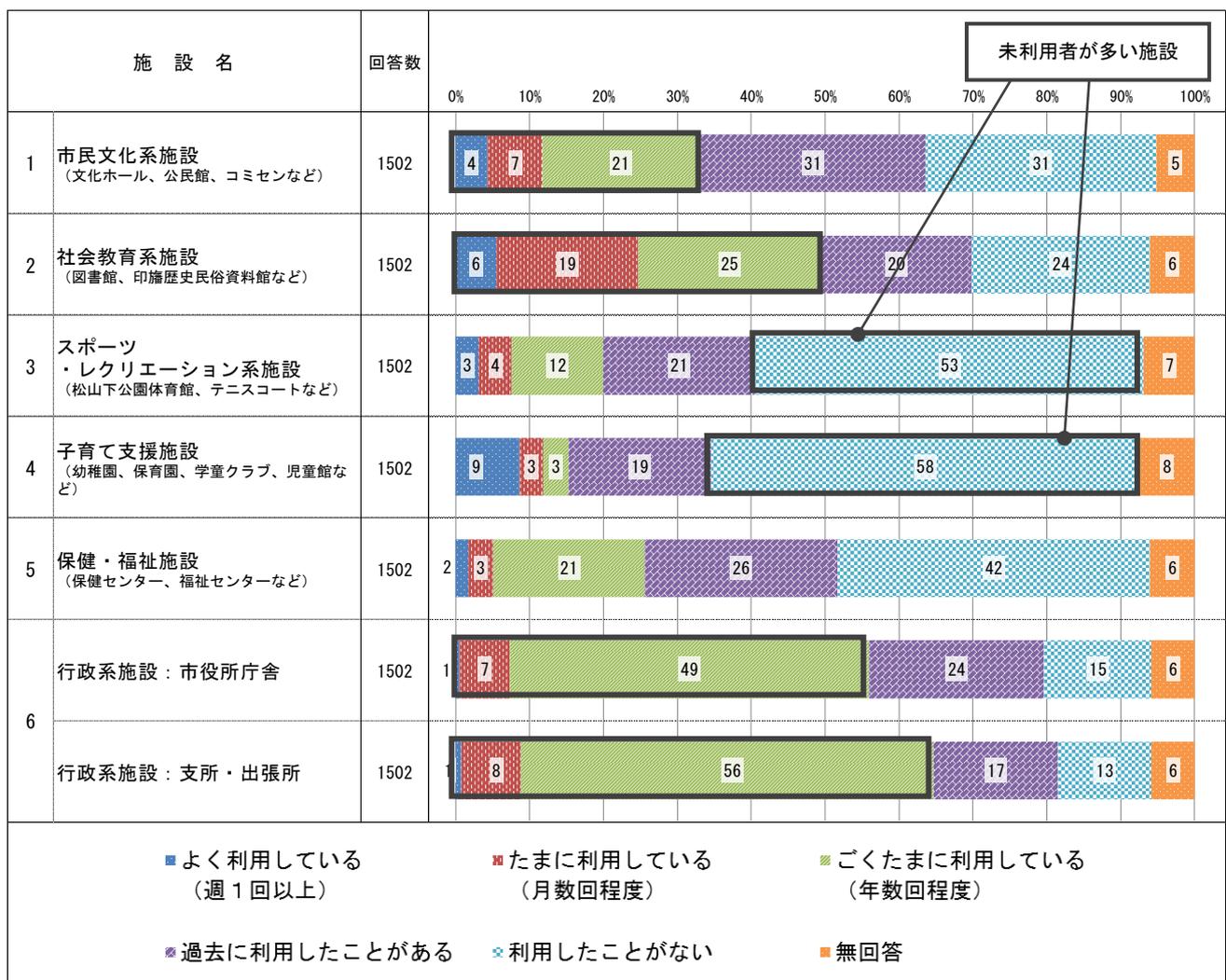
※色付き地区は、ニュータウン地区です。

## 2.2. 調査結果の概要

### (1) 問1 公共施設の利用状況 ①利用頻度

あなたは下表に示す公共施設をどのくらい利用していますか。対象施設ごとに「①利用頻度」から一つ選んでください。

- 「よく利用している」「たまに利用している」「ごくたまに利用している」の合計割合が最も高い施設は行政系施設（支所・出張所：65%、市役所庁舎：57%）です。次いで、社会教育系施設（50%）、市民文化系施設（32%）が高くなっています。
- 「利用したことがない」の回答割合が最も高い施設は子育て支援施設（58%）です。次いで、スポーツ・レクリエーション施設（53%）が高くなっています。

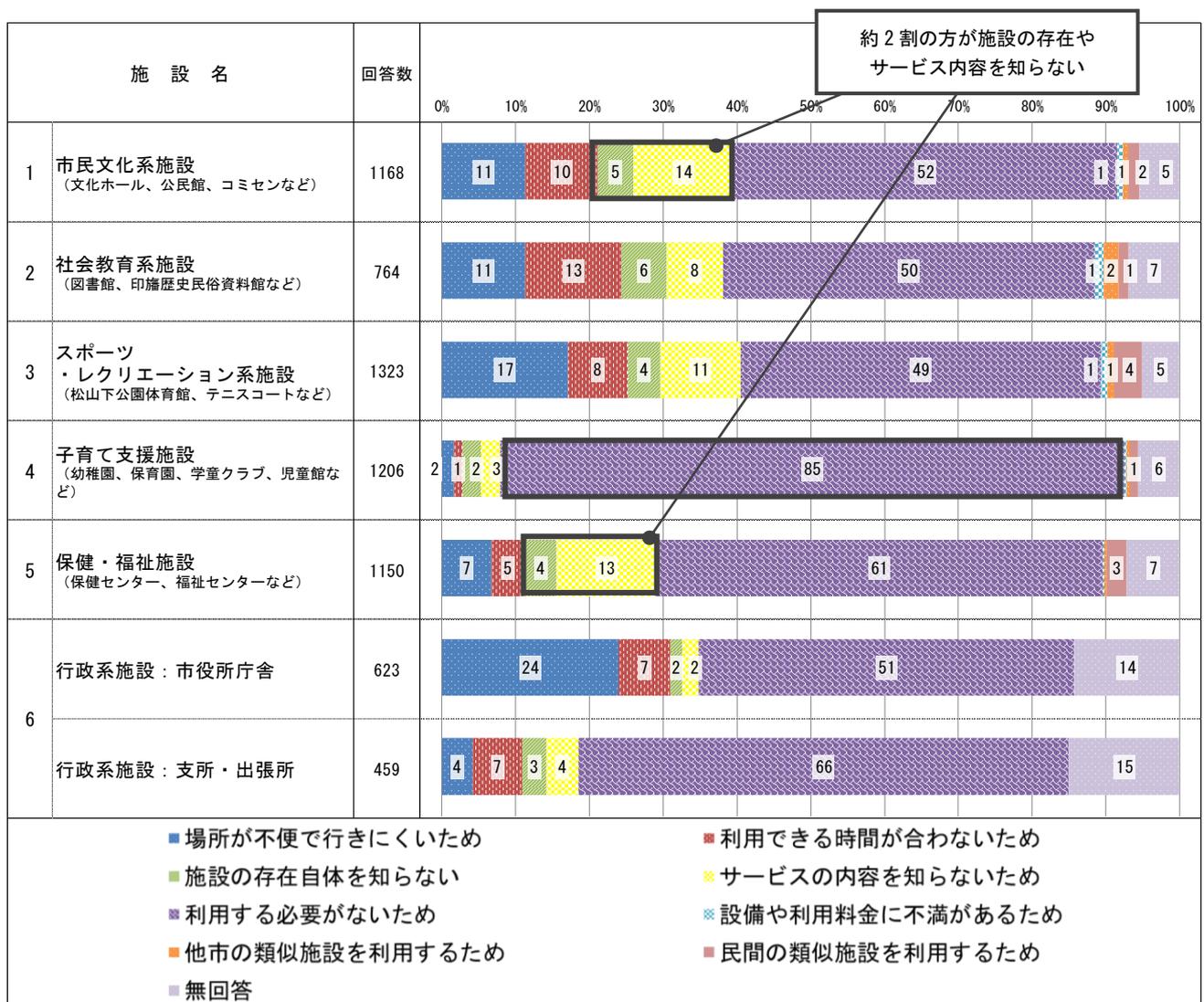


  は、傾向が顕著な回答を示しています。

## (2) 問1 公共施設の利用状況 ②利用しない理由

「①利用頻度」で「過去に利用したことがある」又は「利用したことがない」を選択した場合は、「②利用しない理由」よりその理由を選んでください。(複数可)

- 公共施設を利用しない理由は、すべての施設で「利用する必要がないため」が突出して高くなっています。
- 行政系施設：市役所庁舎（24%）とスポーツ・レクリエーション系施設（17%）では「場所が不便で行きにくい」が他施設に比べ回答割合が高くなっています。
- 社会教育系施設（13%）と市民文化系施設（10%）では「利用できる時間が合わない」が、他施設に比べ回答割合が高くなっています。
- 市民文化系施設、保健・福祉施設、スポーツ・レクリエーション系施設は「施設の存在自体を知らない」と「サービス内容を知らない」の合計割合が、約2割を占めています。

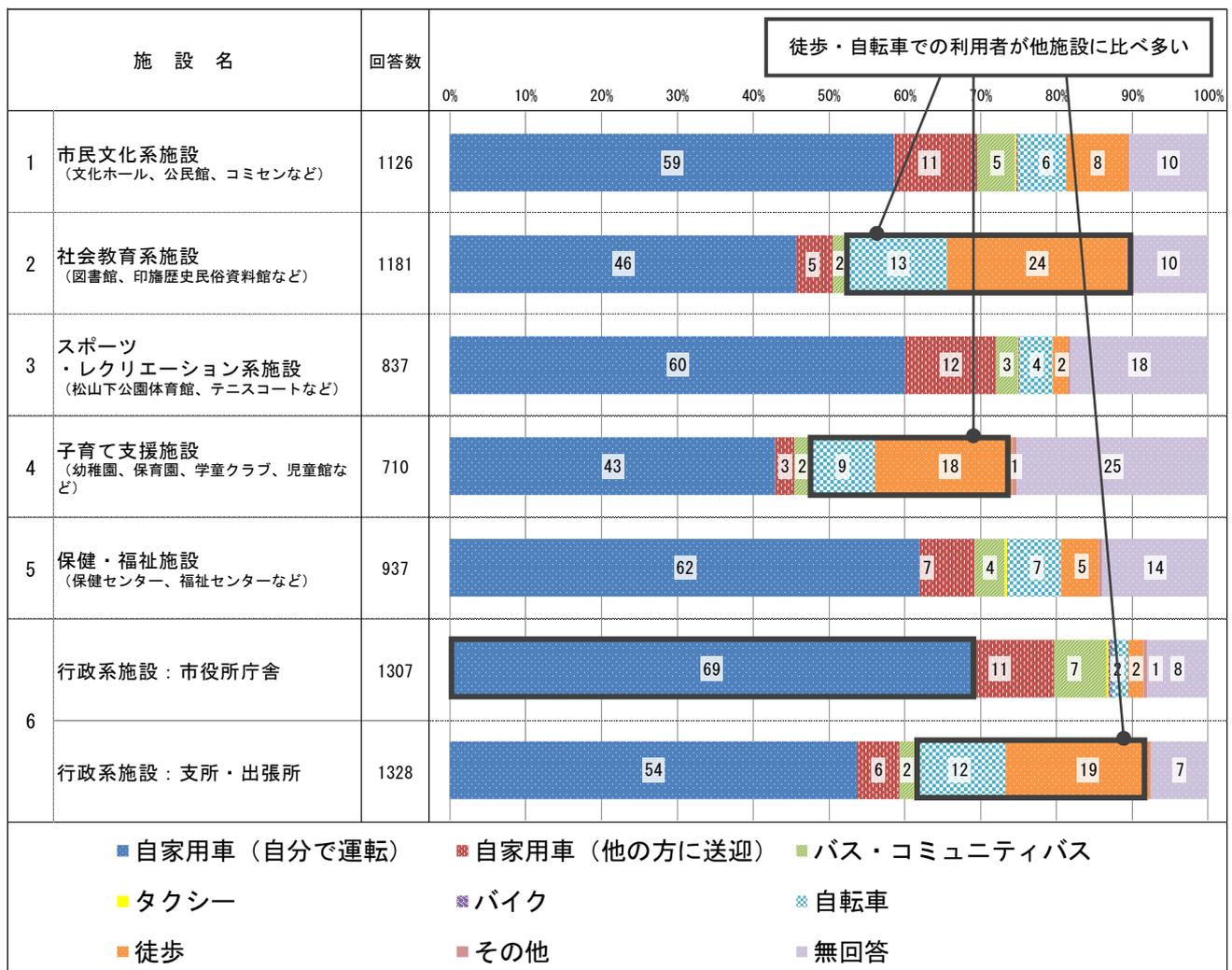


は、傾向が顕著な回答を示しています。

### (3) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ①主な交通（移動）手段

あなたは下表に示す公共施設を利用されたとき、主にどの交通（移動）手段を使われましたか。対象施設ごとに、主な交通手段を一つずつ選んでください。

- すべての施設で「自家用車（自分で運転）」の回答割合が突出して高くなっています。また、社会教育系施設と子育て支援施設を除く施設は、「自家用車（自分で運転）」と「自家用車（他の方に送迎）」の合計が回答割合の6割以上を占めています。
- 社会教育系施設、行政系施設：支所・出張所、子育て支援施設では「徒歩」と「自転車」の合計が、回答割合の約3割以上を占めています。
- その他の記述回答では、行政系施設：市役所庁舎への交通手段として、「電車」を使っている旨の回答がありました。

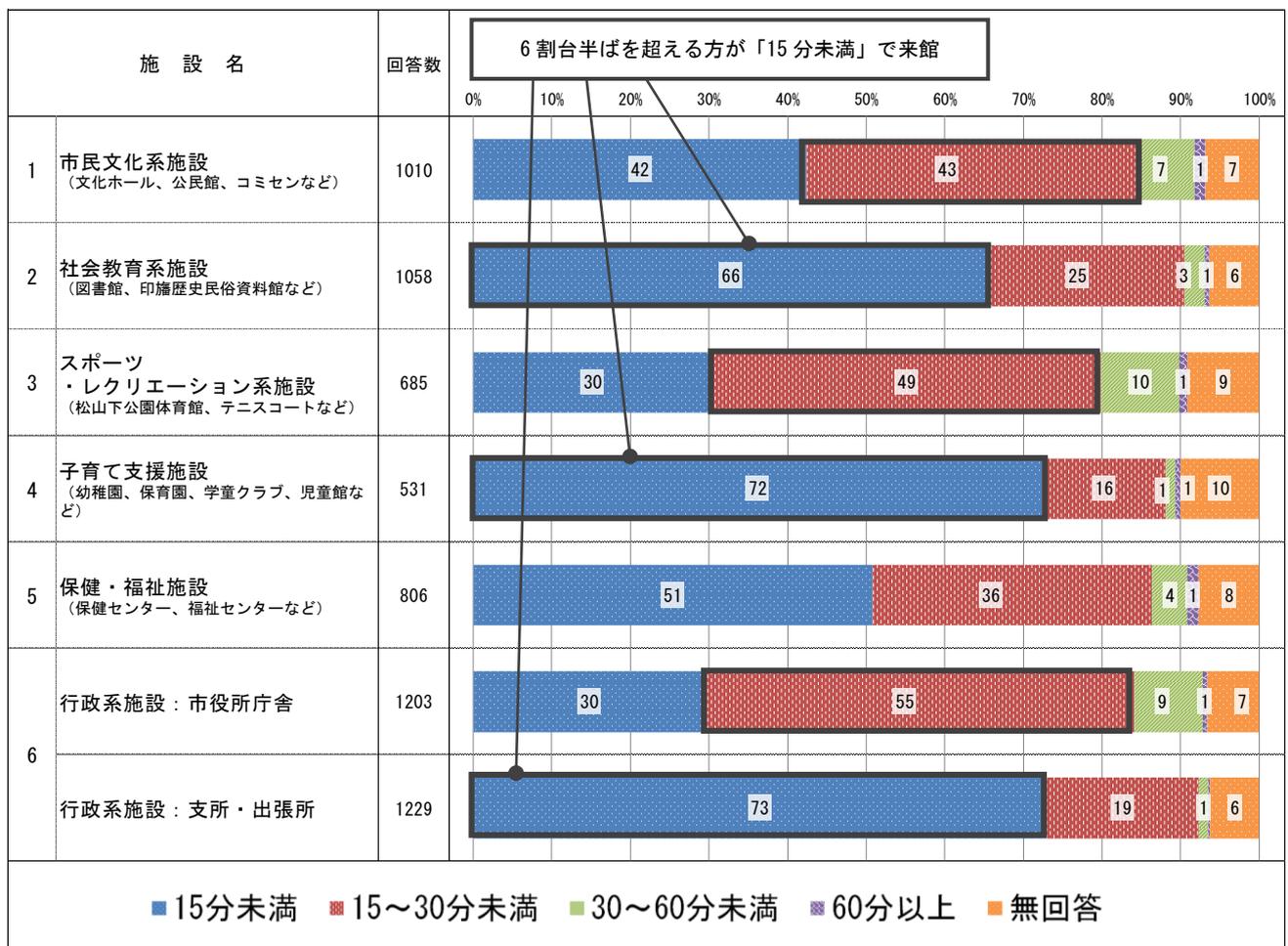


は、傾向が顕著な回答を示しています。

## (4) 問2 公共施設利用時の交通手段と所要時間 ②所要時間

主な交通（移動）手段の所要時間はどれぐらいでしたか。対象施設ごとに、所要時間を一つずつ選んでください。なお、交通（移動）手段で「利用しない（したことがない）」を選択した場合は、所要時間の記入は不要です。

- 行政系施設：支所・出張所（73%）、子育て支援施設（72%）、社会教育系施設（66%）では、6割台半ばを超える方が「15分未満」で来館されています。
- 行政系施設：市役所庁舎（55%）、スポーツ・レクリエーション系施設（49%）、市民文化系施設（43%）では、「15-30分未満」の回答が、他施設に比べ高くなっています。
- すべての施設において、多くの方の所要時間は「30分未満」となっています。



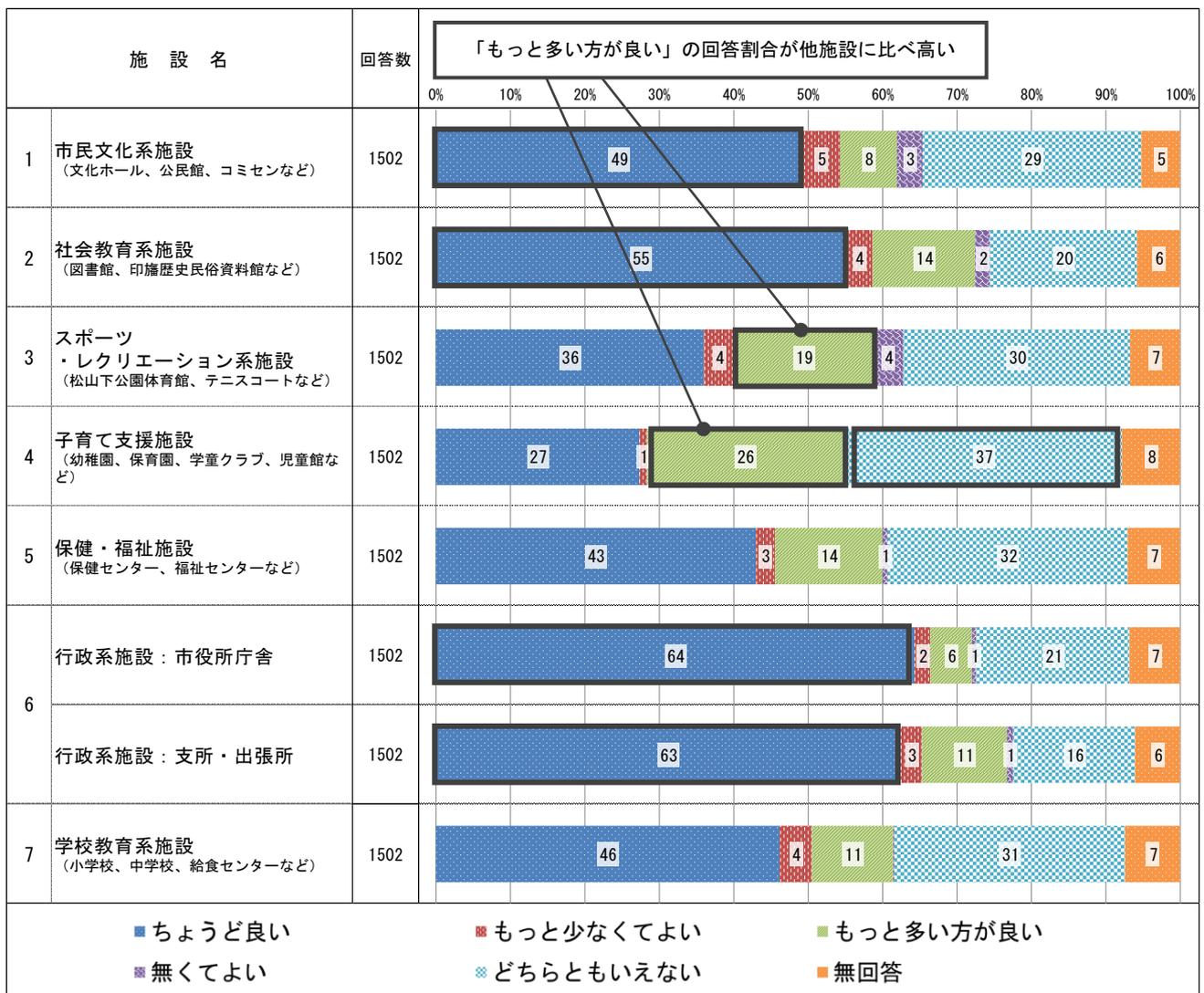
は、傾向が顕著な回答を示しています。

### (5) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ①施設量

あなたは、下表に示す公共施設の量に満足していますか。対象施設ごとにあなたの考えに近いものを一つ選んでください。

○子育て支援施設を除いた施設は、「ちょうど良い」の回答割合が最も高くなっています。  
 特に行政系施設：市役所庁舎（64%）、行政系施設：支所・出張所（63%）、社会教育系施設（55%）、市民文化系施設（49%）では高くなっています。

○子育て支援施設（26%）、スポーツ・レクリエーション系施設（19%）では、他施設に比べ、「もっと多い方が良い」の回答割合が高くなっています。

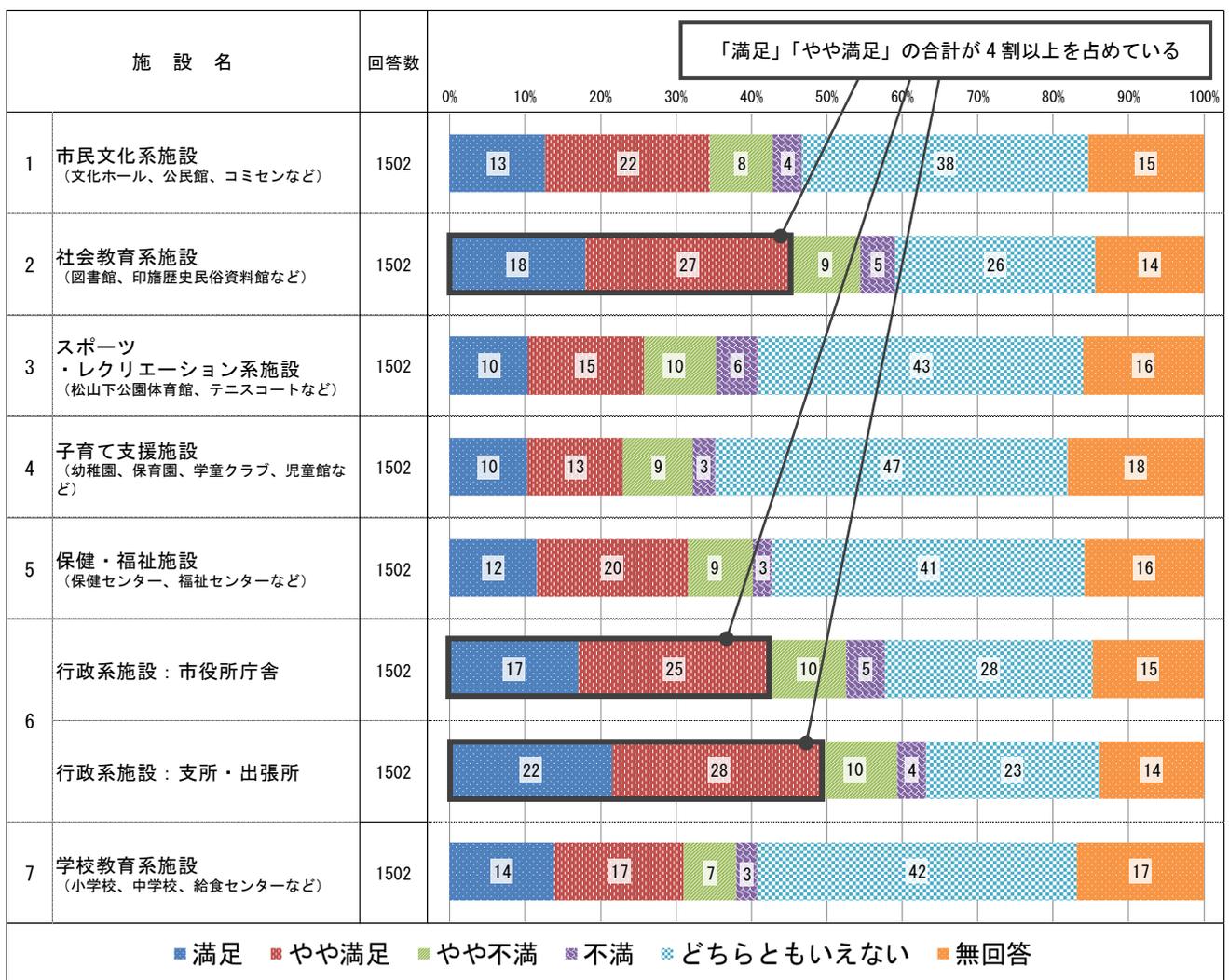


64 は、傾向が顕著な回答を示しています。

## (6) 問3 公共施設の施設量とサービス内容 ②サービス内容

あなたは、下表に示す公共施設のサービス内容に満足していますか。対象施設ごとに、あなたの考えに近いものを一つ選んでください。

- 行政系施設：市役所庁舎、社会教育系施設、行政系施設：支所・出張所では、「満足」と「やや満足」の合計が、回答割合の4割以上を占めています。
- 社会教育系施設、行政系施設：支所・出張所を除く施設は、「どちらともいえない」の回答割合が最も高くなっています。



は、傾向が顕著な回答を示しています。

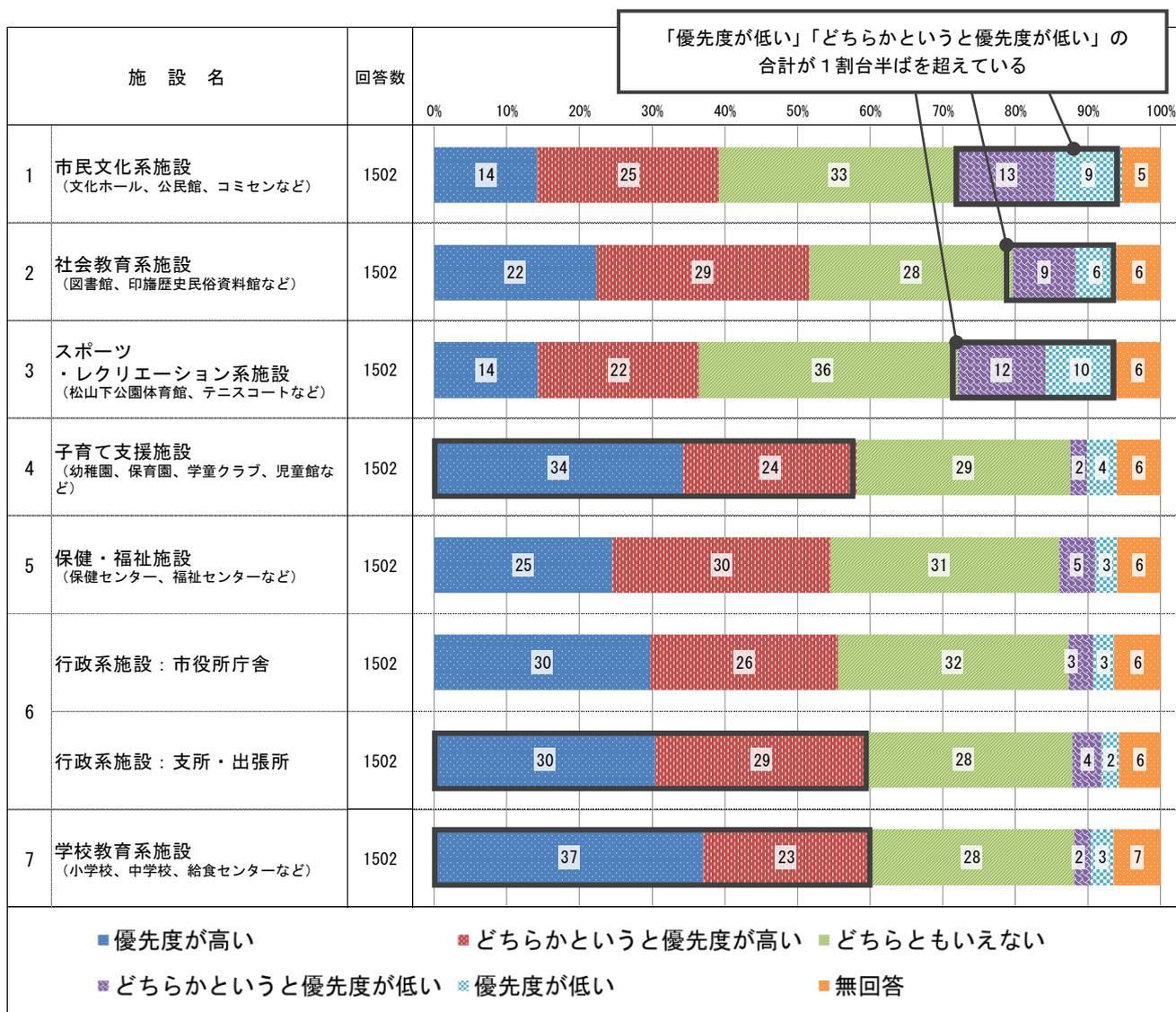
## (7) 問4 公共施設の存続優先度 ①優先度

あなたは、印西市が将来にわたって、公共施設を存続していくにあたり、それぞれの施設の優先度（高い・低い）をどのように考えていますか。下表の施設ごとに、あなたの考えに近いもの一つを選んで下さい。

○市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設を除く施設は、「優先度が高い」と「どちらか」というと優先度が高いの合計が、回答割合の5割以上を占めています。

特に学校教育系施設（60%）、行政系施設：支所・出張所（59%）、子育て支援施設（58%）は高くなっています。

○市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、社会教育系施設では、「優先度が低い」と「どちらか」というと優先度が低い」の合計が1割台半ばを超えています。

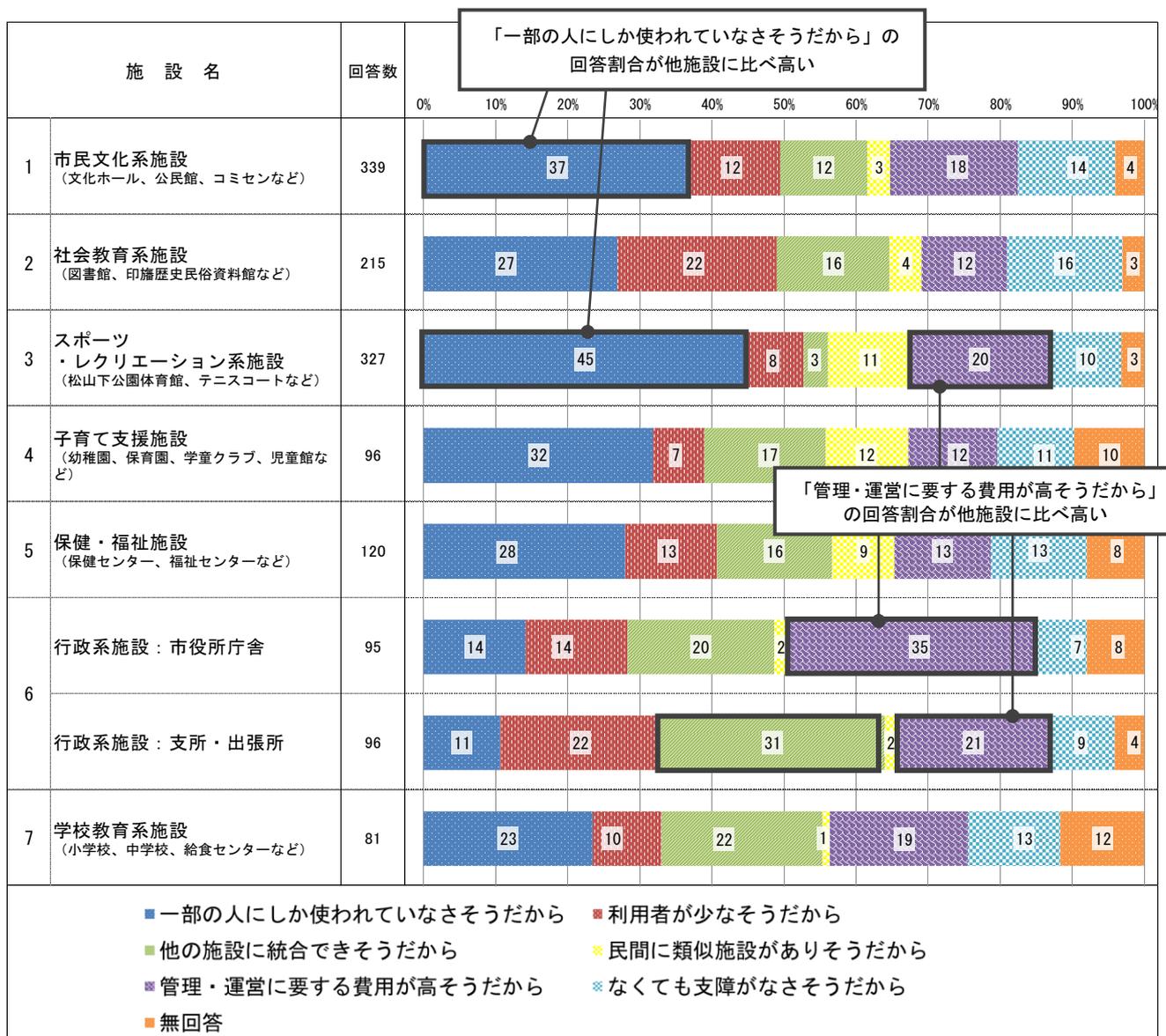


は、傾向が顕著な回答を示しています。

## (8) 問4 公共施設の存続優先度 ②優先度が低い理由

「問4-①優先度」で「どちらかというと優先度が低い」又は「優先度が低い」を選ばれた場合は、「②優先度が低い理由」より、その理由を二つまで選んでください。

- 行政系施設、学校教育系施設を除く施設は「一部のみにしか使われていなさそうだから」の回答割合が高くなっています。
- 社会教育系施設（22%）、行政系施設：支所・出張所（22%）は「利用者が少なそうだから」の回答割合が他施設に比べて高くなっています。
- 行政系施設：市役所庁舎（35%）、支所・出張所（21%）、スポーツ・レクリエーション系施設（20%）では「管理・運営に要する費用が高そうだから」の回答割合が、他施設に比べて高くなっています。
- スポーツ・レクリエーション系施設を除く施設は、「他の施設に統合ができそうだから」の回答割合が高く、特に行政系施設：支所・出張所（31%）が高くなっています。

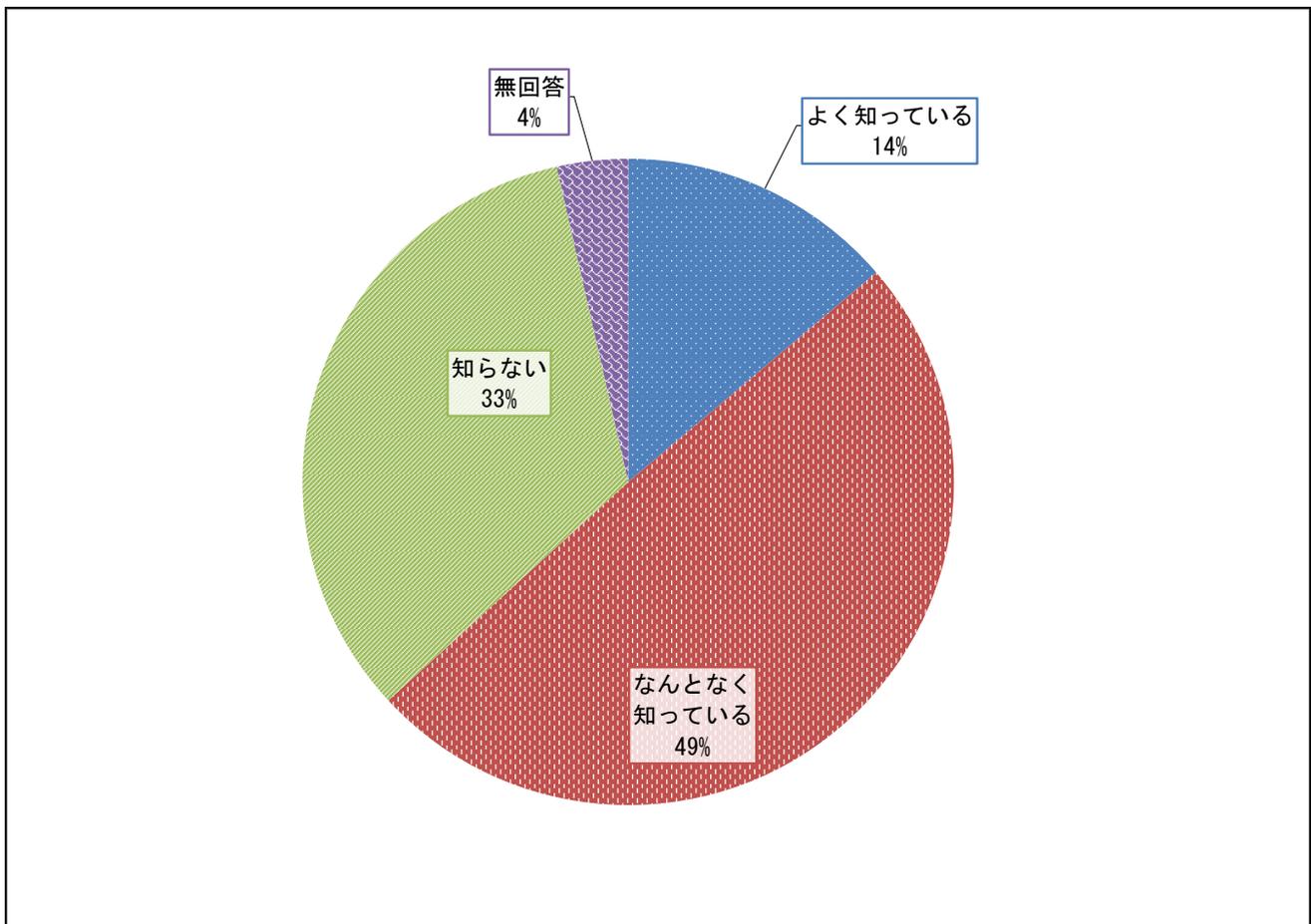


  は、傾向が顕著な回答を示しています。

## (9) 問5 公共施設を取り巻く社会情勢の変化の認知度

印西市の公共施設は、昭和59年以降に建てられたものが多く、老朽化とともに、近い将来一斉に建替えなどを実施しなければならない時期を迎えます。一方で、少子高齢化の影響などから財政状況は厳しさを増し、今あるすべての公共施設や機能を維持し続けることが難しくなる見込みです。こうしたことは全国的な傾向ですが、あなたはこのような状況をご存じでしたか。以下の中から、一つ選び、番号に○をつけてください。

○「なんとなく知っている (49%)」「よく知っている (14%)」の合計が、回答割合の6割台半ばを占めており、多くの方が社会情勢の変化を認知されています。

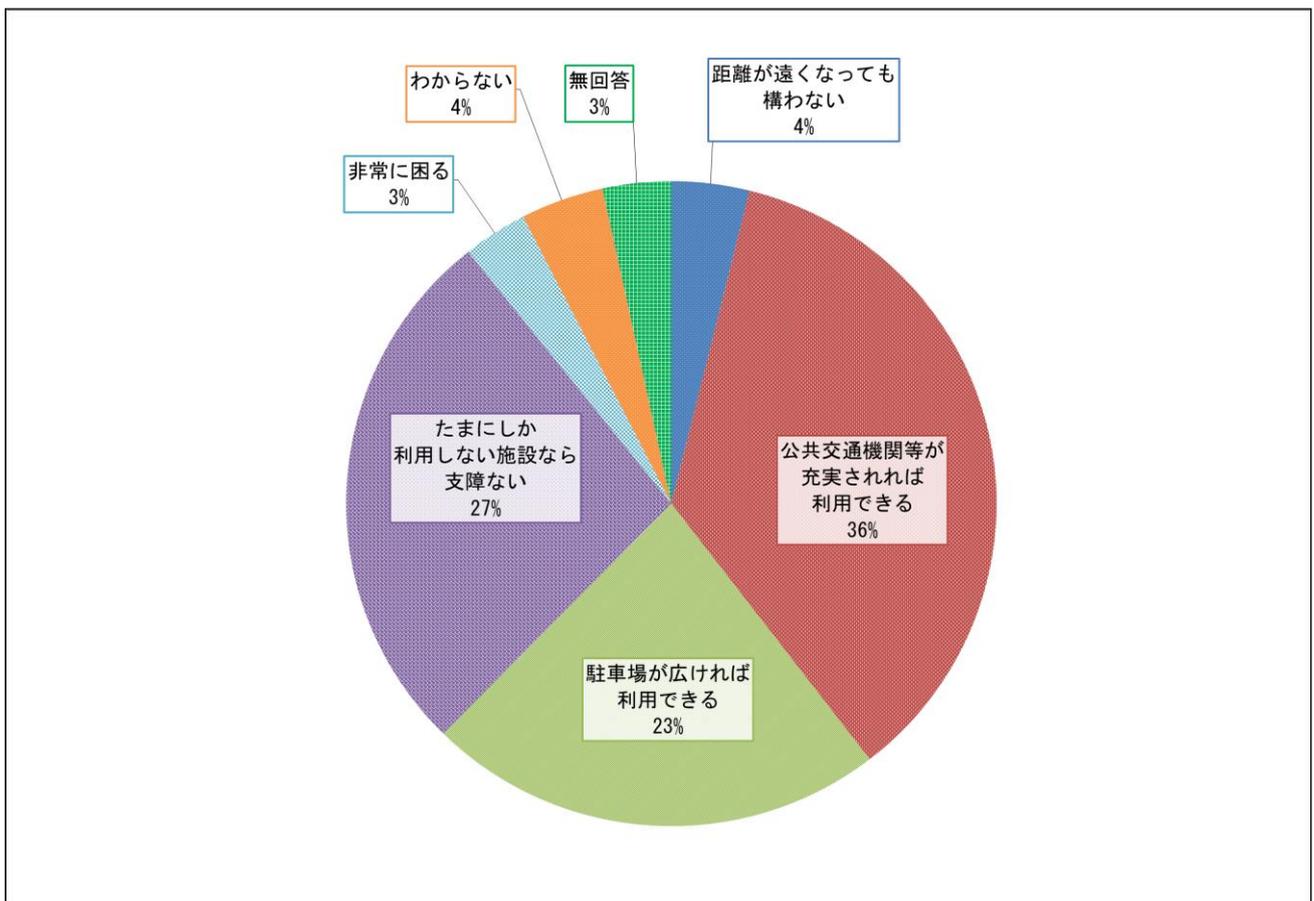




## (11) 問7 公共施設の統廃合と交通手段への影響

今後、もし公共施設の統廃合を行った場合は、現在より公共施設までの距離が遠くなることも考えられます。その場合、あなたは許容できますか。

- 「公共交通機関等が充実されれば利用できる（36%）」の回答割合が最も高くなっています。次いで、「たまにしか利用しない施設なら支障ない（27%）」「駐車場が広ければ利用できる（23%）」が高くなっています。
- 自由意見において、「非常に困る」理由として、「自動車の運転ができない・いずれできなくなる」と「公共交通機関が無い事」、「公共施設までの距離が遠い事」が挙げられていました。



## (12) 自由意見

自由意見は、565 人の方からご意見がありました。次のように分類し、主なご意見をご紹介します。なお、なるべく原文のまま記載していますが、一部意見の趣旨を損なわない程度に表現を変えて表記している場合があります。

### 1、公共施設に関するご意見（問6の設問に準じて分類しています。）

#### ①今ある施設を統廃合や機能集約することで、施設全体の数を減らす

統廃合は避けられないのではないかといったご意見がありました。また併せて、単に行うのではなく、施設までの交通手段や建設地への配慮が必要だにご指摘を頂いています。

（ご意見例）

- 施設の中にほとんど利用していない部屋がいくつもあるようだが、建物の数が多かったり、外観が立派でも、それを活用できないのなら意味がないので、施設の建て替えや改修をする際、思い切って減築したり、旧印旛村役場を解体したように施設をなくす。（不明・70歳以上・地区14）
- 今後印西市は老人が増加します。自家用車を手放す家庭も増えてきます。ふれあいバスをもっと充実すべきだと思います。時間帯、本数共に少ないと思います。バスを充実させて公共施設は統廃合し、老朽化施設は減少させていけばいいと思います。ただし、学校教育系施設は減少させず、しっかり改修して、避難場所として確保した方がいいと思います。（女性・50～59歳・地区5）
- 人口分布と公共施設の配置が対応していないため、一部の人がしか使わない施設が多いのではないかと。また人口に対する小学校は他市（白井市、船橋市等）と比較して明らかに過大。統廃合を進めた上で小学校が真に必要な地区（戸神台等）に配置すべき。（男性・30～39歳・地区7）
- 印西、本埜、印旛の1市2村が合併したので、公共施設が非常に多いと思われます。適度に公共施設の数を減らすことが必要であると思います。市税の金額には限りがありますので、もっと必要なところへ手厚く対応する部分があると思います。絶対統廃合は必要であると思います。（男性・30～39歳・地区15）
- 予算は限りあるものなので、統廃合や近隣市町との共有はしかたがないと思う。ただし、施設から遠い方（子ども、高齢者、リスクのある方など）についての配慮は必要だと思う。また民間施設の借り上げ等も視野に入れるのは良いことだと思う。（男性・50～59歳・地区16）

②近隣の自治体と共用できる施設は、市域を超えた利用をすることで、施設全体の数を減らす

近隣都市との共用できる施設を増やし、施設数を減らすことについて賛成のご意見がありました。

特に文化ホール等の施設について市域を超えた利活用のご意見がありました。

一方で、懸念点として、共用には公共交通機関の充実が必要であるとの意見や、市域外の施設を利用する際の利用率について等の意見が併せて寄せられています。

(ご意見例)

○公民館前は近隣に比し非常に充実しており、むしろ市の実力に比し、立派すぎです。ただし、文化ホールは、むしろ手狭です。(むしろ近隣に比し少なすぎる、大イベントの時に定員オーバーが予想される)。他市町と、連携し、お互いに市域を超えた活用・促進を計り、有効に利用すべきだと思われれます。(男性・70歳以上・地区7)

○公共交通機関等を充実すれば、公共の施設を利用することで印西市だけでなく、もっと白井市との共有を考えたい。学校教育と社会教育の施設の活用等、もっと共有する方法論はあると思います。

(女性・70歳以上・地区9)

○市民ホール等は、市ごとにある必要はない。人口が減っていくのであれば、市区町村をまたいで施設の統合をした方がよい。労働力が不足するはずなので、女性が働きやすい環境づくりにお金を使ってほしい。そうすれば自然と税収も増えると思う。(男性・40～49歳・地区2)

○総合福祉センターや本塾ふれあいプラザなどは小さい子どもや高齢者しか(センターは障害者も可だけど)利用できず、近くにあっても利用できない。対象を限定せず、近隣にひとつのようにしてはどうか。(女性・50～59歳・地区16)

○近隣の市との共有できる施設の場合、他の市民が利用するにあたっては使用料金がかかる場合がある。(女性・70歳以上・地区2)

③施設の建替え・改修や管理・運営に民間のノウハウや資金を活用し、コストカットを図る

施設の管理・運営を民間企業へ委託することによって、管理・運営費の削減や経常的な収益が見込まれるのではないかと、といったご意見がありました。

また、空き施設を民間企業へ貸出することや、民間施設を借用して公共サービスを提供すること等によって、相互の施設を有効的に活用できるというご提案も見受けられました。

(ご意見例)

○一箇所で全ての用が足りる様な総合的な施設であれば、少しぐらい距離が遠くなくても構わない。民間のノウハウを取り入れることは必要だと思う。(女性・18～29歳・地区1)

○公共施設の存続が本当に必要か否かを、利用状況やコストを考えた上で存続を検討していただきたいです。公共施設の機能を分散させて民間に委託し、補助金などを出すと施設管理費、人件費が削減できるのではないのでしょうか。(女性・30～39歳・地区13)

○統廃合せずに他の利用価値のあるものは、そのまま利用すれば良いのではと考えています(壊すのにも、お金がかかります)。どうしても、利用者がいなくて負担になるのなら仕方ないですが、空いている施設や部屋は民間に貸し出してはいかがでしょうか？(女性・50～59歳・地区9)

④地域に密着した施設は、町内会などが管理運営することで、市が管理する施設を減らす

公民館等の地域に密着した施設については、利用地域の住民による管理運営を行ってはどうか、というご意見がありました。

また、管理運営にボランティアを活用するというご意見も寄せられています。一方で、管理運営をすることによる、一部住民への負担に対する不満や懸念の声も見受けられました。

(ご意見例)

- 退職された中高年の方たちが公民館やコミセン等で様々な趣味を楽しんでおられます。今後ますます利用者が増えることを考えると駐車場の不足が考えられます。建物の寿命はなるべく伸ばし、管理運営も地元でやりながら駐車場はできるだけ増やして欲しいです。(女性・60～69歳・地区5)
- 利用度、利用者の広がり具合を調べ、限られた利用状況であれば、利用している人たちには申し訳ないが、縮小していくべきでは？もしくは、利用地域の人達による運営管理とすることで残す。(女性・40～49歳・地区5)
- 地域の核となる施設は地域住民の利用頻度により、少額であれ、地域住民が負担して維持する。(男性・60～69歳・地区5)
- 高齢化になりボランティアの方も決まった人たちでやっているのが現実です。コミセンもあれば何かと便利ですが利用者もほとんど決まっていますね。正直高齢者には最高、若者には負担です。この先、財政状況が悪化するのならやめてもらいたいと思うのが本心です。(女性・60～69歳・地区7)

⑤建替えは行わずに、補強するなどして、出来るだけ寿命を延ばし、更新費用を減らす

施設の統廃合や複合化にともなって新設や建替えを行うのではなく、補修や補強をして、既存の建物を維持していくというご意見がありました。

一方で、避難施設や行政系施設については、今後、施設を修繕することを前提とした建築物として、新設や建替えを行う必要がある、というご意見もありました。

(ご意見例)

- 公共施設は極力少なくすべきだと思います(借金しなくて維持できれば別ですが)。最近体育館をつくったり、立派な駅をつくり替えたりしましたが、本当に必要なのでしょうか。単線のJR駅ではエレベーターだけを設置すれば十分だったと思います。今後増設は一切やめて、老朽化したものは撤去し、使えるものは補修して、歳出を極力少なくなるようお願いします。(男性・70歳以上・地区2)
- 建て替えは最低限にして、補修して継続する。既存の施設を多目的に使用し(曜日ごとに目的を変えるなど)、建物は少なくサービスは最低限継続したい。(男性・50～59歳・地区12)
- 今までの施設で利用価値のあった建物は立て直し、または修繕すべきだと思います。利用価値のなかったものは、つぶすべきですね。(男性・70歳以上・地区7)
- 補強することで安全確保できるものは補強して、一斉に建替えとしないようにする。(女性・30～39歳・地区7)
- 災害時の避難場所は積極的に建替え、修繕を行うべきだ。(男性・50～59歳・地区5)
- 絶対に必要な施設(市役所、出張所等)は修理、修繕しやすい建設物として新設(無論、老朽化するまで使用したうえで)する。(男性・60～69歳・地区5)

⑥施設を減らす代わりに民間施設（会議室・スポーツ施設など）の利用に対する助成を行う

民間施設の利用に対する助成について賛成のご意見がありましたが、全体として寄せられたご意見は僅かです。

（ご意見例）

○施設を減らして民間施設を利用するのを促進させるための助成は、とても良いことだと思う。

（男性・50～59歳・地区5）

○一部の人しか利用しない施設は使用料金の引き上げ、又は統廃合して民間施設利用に対する助成で良いのでは？（女性・30～39歳・地区7）

⑦現在有料の施設は、管理運営に充てられる財源を増やすため使用料金を引き上げる。

または、現在無料の施設も、可能な限り有料化し、財源を増やしていく

財源確保および施設の存続のために利用料の徴収や引き上げを行うことについては、賛成あるいは、やむを得ないといったご意見が寄せられています。

一方で、一部の施設では、現在の利用料が高いというご意見もあり、今後、利用料金を設定する際は、一律に引き上げ、あるいは徴収を行うのではなく、施設ごとに利用状況等を把握した上で決定して欲しいとの要望があります。

（ご意見例）

○週に1度～2度サークル活動で公民館を利用させていただいています。私は1人ではなく、サークルのメンバー全員が通える場所ではなくなってしまうと、サークルの存続自体も難しくなってしまうことが考えられるので、料金の値上げをされても施設が無くなってしまふことは避けて欲しいと思います。（女性・50～59歳・地区13）

○なんでも有料化、使用料引き上げというのではなく、受益者負担というか大半の市民が利用するもの、利用する方が限られているものなど、それぞれ分けて料金についての増額等を考えてほしい。

（女性・40～49歳・地区13）

○公共施設は可能な限り全般的に皆が活用できるようにすべきであるが、公平性が保たれないようであれば、活用しない人達に不満が出来るだけ出ないように費用を圧縮、または有料化すべきであると考えます。（男性・30～39歳・地区7）

○財政を考えると仕方がないことは多々あると思いますが、松山下公園の中の体育館などは、いつ見てもガラガラです。料金が高すぎて使用できないのも、問題であると考えます。（女性・60～69歳・地区5）

## 2、公共交通機関・インフラ資産に関するご意見

### ①公共交通機関の充実に関するご意見

公共施設への交通手段が少ないとのご意見がありました。

施設の駐車場については手狭である・不足しているといったご意見が多く、特に市民文化系施設、社会教育系施設及び保健・福祉施設では駐車場を拡充してほしい、とのご要望を頂きました。

また、今後、自動車の運転が困難になることを懸念した声が多く見受けられ、高齢者や児童等の交通手段として、コミュニティバスの拡充を求める声が多くありました。

さらに、JRの運行本数の少なさや北総線の運賃の高さに対するご意見もありました。

(ご意見例)

- 今現在も文化ホールで行われているコンサートなど、行ってみたいと思っても、車の運転ができないため、交通手段がないので行けません。千葉ニュータウン中央地区～文化ホールの臨時バスなど出していただけたら、行けると思います。(女性・50～59歳・地区5)
- よく図書館や児童館を利用するのだが、駐車場が狭くて困っている。子ども連れやお年寄りも利用するのだから、少し駐車スペースを広めに、台数がたくさん止められるようにしてほしい(せっかく出向いても車が止められず、あきらめて帰ることもあります)。(女性・30～39歳・地区8)
- 公民館、松山下公園体育館など限られた人しか利用していないと思います。利用するにしても駐車場が限られていたり、車を自分で運転しても近道を通らないと遠かったりして行きづらい。時間はかかってもバスなどの充実を図って、安い料金で便利に印西の中を行き来できるのが良いと思います。少し印西はバラバラで、移動するのが大変ですが、年をとると自動車の運転も危ない気がします。(女性・60～69歳・地区7)
- 住民の生活の充実のために、公共施設の存在は不可欠なものだと思いますが、高齢者など移動手段を持たない人たちが利用できるよう、移動手段を確保することが大切なのではないかと思う。住民の世代を越えた接点をつくり出す場としての重要な場として活用することも、必要となってくるのではないかと思います。(女性・50～59歳・地区1)
- 行政系施設(支所・出張所)は重要。交通機関が充実していないため、利用するにあたり、なくされると書類等などの用事などに困る。市役所庁舎は遠すぎる。(女性・40～49歳・地区11)
- 今はどの施設にも車で行かれますが、高齢になって車が利用できなくなった場合、どの施設に行くにもバスの本数が少なすぎて困ります。公共施設の充実とともに交通面も充実してほしいと思います。(女性・50～59歳・地区2)
- 成人は車を利用すればいいが、子どもやお年寄りは利用できなくなる。その世代こそがよく公共施設を利用すると思う。統廃合が必要なら、無料巡回バスを出すべき。(女性・40～49歳・地区11)
- 今は自分で車を運転して多少離れた場所でも行くことができますが、歳をとると車でなければいけないような場所に公共施設があるのは不便に感じられると思います。北総線は料金が高いですし、バスは1日に4回くらいしか来ません(しかも、乗り継ぎをしなければ目的地にたどり着けません)。公共施設は、誰でも利用できるような場所にあってほしいと思います。(女性・40～49歳・地区13)
- 北総鉄道の運賃引き下げにかかわる実効的な方策を検討してほしい。(男性・30～39歳・地区7)

## ②道路・公園などのインフラ資産に関するご意見

道路については標識や街灯、道路標示の管理について、ご不満の声が寄せられており、一部の地域では豪雨時に冠水するとのご指摘があります。

公園については利用者のマナーが順守されていないといったご意見が寄せられています。また、遊具の劣化や歩道の不備等のご指摘も寄せられています。さらに、公園については地域によって遊具や公園の数に差があるという、ご不満の声が見受けられました。

(ご意見例)

- 毎日の通学、通勤するものとして、道路標示の整備について管理を強化していただきたいと思えます。中央駅の近辺の横断歩道でも、劣化してもしばらくそのままになっている事を感じます。左折車と接触事故にも会い、危険を感じます(夕～夜)。(男性・50～59歳・地区7)
- 印西市においては、施設のほとんどが千葉ニュータウン牧の原エリア(旧印西市エリア)に集中しており、私ども旧印旛村エリアには合併のメリットは感じられない。さらに2年前の大雨の際には、順大から酒々井駅に抜ける県道および周辺の道路が冠水(橋の付近の水深は最大1.2mほど)して、バスも止まり買い物にも行けず。せめてこのような生活不安を感じさせないように、道路のかさ上げ、整備を行ってほしい。(男性・60～69歳・地区12)
- 道路沿いの街灯が消えているものが多く危ない。(女性・18～29歳・地区13)
- 西部公園を利用しています。芝が綺麗に整備されて使いやすいです。でも、犬の糞が多く落ちていて、困っています。孫などが元気よく遊んでいる時に靴についてしまって困ります。公共の施設をルールを守って使ってほしいです。(女性・60～69歳・地区11)
- 大塚前公園から駅に行く歩道の平板がぐらついて段差もあり、修理してほしい。  
(男性・60～69歳・地区5)
- 滝野公園は犬公園です。幼児を遊ばせようと思っても、犬の糞尿が全面にされていてとても困ります。(女性・70歳以上・地区16)
- 牧の原地区の公園の遊具の古さがとても目立つうえ、傷みや幼児に優しい設備ではない(例えばすべり台の階段が広すぎる。段差の間の補強もない)ため、取り換えてほしいです。(女性・40～49歳・地区2)
- 既存のまちには、公園のひとつもないというのが現状で、すごく不満を感じる。子どもがニュータウンには多いから当たり前なのかもしれないが、古くからある町村にも子どもは生まれます。整備されて公園に行くには、ニュータウンや有料の遊技場に出向くしかありません。(女性・70歳以上・地区14)